

②症例別 服薬指導のポイント

1 2 3 4 5 6

服薬指導では、患者さまとのコミュニケーションが大切です。

患者さまの状況や、困りごと・悩みごとに適した服薬指導をするには、どのような点を意識すればよいでしょうか。

ここからは、内科・皮膚科・精神科など対応機会の多い症例を11選ピックアップし、

症例ごとに服薬指導のポイントをご紹介いたします。

ケース1

薬の飲み忘れが多い患者さま

服薬指導のポイント



- 薬を飲み忘れる原因を考え、個々の要因に応じた服薬支援を行う。
- 服用薬の薬理作用に基づき、飲み忘れた時の対処法について指導を行う。

薬を飲み忘れる原因は様々です。

- 食事をしなかった場合に飲み忘れてしまう
- 食間や食直前の薬など、服用するタイミングの複雑さから飲み忘れてしまう
- 自己判断により服用を中止してしまう（効果を感じない、副作用が怖いなど）